

ヤマモトホールディングス株式会社

技術分野	材料
技術キーワード	ガラスコーティング

所在地	[本社] 〒270-2267 千葉県松戸市牧の原 2-32 [都内所在地] 〒135-0064 東京都江東区青海 2-4-10 都産技研 製品開発支援ラボ 304				
資本金	1,200 万円	従業員数	50 名	設立年 (西暦)	2000 年
主要事業	住宅リフォーム業				
Web サイト	http://matsudo-paint.com/				
連絡先 (部署・氏名)	研究開発部 主幹研究員 小田原 玄樹				
TEL	03-6450-4176	Eメール	dr-hardolass@y-hd.com		
得意な技術・製品	ガラスコーティング剤の開発・製造				
得意な顧客・市場分野	住宅リフォーム業界				
生産拠点・研究体制	研究所 (東京都立産業技術研究センター内)				
特記事項 (取得資格・認証等)	千葉のちから「中小企業表彰」受賞、ISO14001:2004 認証取得 (2009 年)、ベンチャークラブちば 第 34 回ビジネスプラン発表会「優秀賞」受賞 (2018 年)				

PR 詳細

10 年以上に及ぶ研究の結果、ガラス化する主成分 (ポリシラザン) の品質と純度を極限に高め、ナノ粒子化して溶剤に分散させることに成功した。完全ガラス硬化後は、緻密なガラス薄膜がナノスケールで形成するレベルまで品質を向上させた。ナノサイズのガラス原料が素材表面の隅々に浸透して薄膜化することで、素材の外観・意匠性を損ねることなく防傷・撥水・防汚・防錆・防カビなどの効果が発現する。

東京都立産業技術研究センターをはじめとする公的研究機関にて、ハドラスの検証試験を続けてきたため膨大な実証データの蓄積がある。現在も公的研究機関と共同研究体制を敷いて品質向上に取り組んでいるため、製品の信頼度が高い。

少量で大面積塗布可能 (コーティング液 1L 当り普通自動車は 200 台、スマートフォンは 5,000 台塗布可能) なので、原料費が安価で利益率が非常に高いコーティング剤である。

ハドラスは 1 液タイプかつ室温下でガラス硬化するので、特殊な施工方法は不要で一般ユーザーでも簡単にナノサイズのガラス薄膜がコーティングできる。他社製品は 2 液タイプであったりガラス化する成分の純度が低いこと、ガラス以外の有機成分が多く含まれていることなどから施工方法が難しく、硬度不足や紫外線劣化によるコーティング膜の剥がれ・クラックが生じる。これに対してハドラスは素材の

純度・品質が高いことから耐候性に優れ、特に車コーティング業界では他社製品と一線を画して高評価を受けている。

金属などの固体表面に限らず、石材・木材や樹脂・皮革製品にもコーティング可能で 素材の自由度が高い。一般的には塗装不可能なポリプロピレン樹脂にも濡れ性が良好で、樹脂フィルム業界においても高評価である。

コーティング後はガラスの表面硬度が発現しつつ、ナノレベル薄膜ゆえに下地の変形にも追従可能な柔軟性を合わせ持つ。鉄鋼業界、スマートフォン業界、ゴルフ用品業界などで採用実績があり、販路拡大中である。

